

ギャラリートークの実施について

小野 昌弘 *

概要

当館3階展示場「身近に化学」コーナーにおいて、「香りの話」と題するギャラリートークを実施している。これは、展示資料やその展示意図等を来館者により深く理解してもらうものとして、1回約20分で行っている。ここではその取り組みについて報告する。

1. はじめに

2008年7月に第3次展示改装が終了し、当館3階展示場は、国内では最大の化学の展示場を有することとなった。化学に関する展示といっても、溶液を実際に反応させるものではなく、化学反応をキーワードに、様々な資料を化学的な視点で紹介する静展示の展示場である。

体験型展示に比すると、どうしても子どもだけでなく、大人に対しても展示の存在が気付かれにくいことがある。そこで、その製作を担当した学芸員が、その展示を来館者に紹介できる場として、ギャラリートークを実施している。

2. 実施内容

基本的には、1日1回約20分の実施で行った。



図1・ギャラリートークのようす

ギャラリートーク

展示場3階「身近に化学」フロアで公開している資料の見どころなどを、展示の企画、制作に携わった担当学芸員が解説します。

本日のテーマ「香りの話」 小野学芸員

時間: 15:10~15:30

場所: 展示場3階「におい」コーナー

15:10に「におい」コーナーにお越しください

無料(展示場観覧券が必要です)



◆◆◆ 香りの化学と歴史をご紹介します ◆◆◆

図2. 宣伝看板 解説する展示前や正面玄関、展示場の入口に設置

他の開館時間内のプログラムなどの要因もあり、当初は実施日などは不定期で行うことが多かったが、最近ではほぼ担当する筆者が出勤する土・日・祝日の出勤日の中で、午後3時10分からの実施している。

主なトピックとしては、

- ・香りと人間の関わり
- ・歴史の中に登場する香りについて
- ・香り、においの正体
- ・におい分子の大きさ・重さ
- ・嗅覚の特性について
- ・フェロモン
- ・香りと映画
- ・聞香

以上の中から、当日の来館者層に合わせて話題を提供している。主に成人を対象としているが、子どもを対

*大阪市立科学館
ono@sci-museum.jp

象外とすることはなく、興味を持っていただける人には充分理解していただけるように、内容や話し方に注意を払っている。

この話題提供の中で、行っている聞香は、松栄堂から販売されている電池式香炉「こづつ」を使用している。

これは、電池でヒーターを加熱し、香木の香りを発生させるもので、取扱いがこれまでの香炉に比べると圧倒的に楽である。正式な香道場でなく、個人的に香りを楽しむのであれば十分な能力を有している。

本ギャラリートークでは、香りの化学的な話を中心に展開しているため、このような手軽な機械式の香り発生装置が使用は非常に便利で、伽羅などの香りを実際に多くの見学者に確認してもらえることが容易になった。

3. ギャラリートークの意義

ギャラリートークは、博物館においては、学芸員がその展示の背景や意義について、展示解説パネルには書ききれなかったことを紹介したり、話を聞いている見学者とのやり取りでの情報交換が行える。また、その場で気軽に質問をできたりと、実施する側、聞く側にもメリットが多い。特に情報提供をする学芸員としては、解説パネルの物理的なサイズの問題から、書きたくてもかけなかった内容を生解説できるという魅力が大きい。

その1点のみにおいても実施する価値はある。また、話を聞く見学者にとっても、現場でその展示を造ったものによる詳しい生解説が聞けることで、展示や資料の魅力をもっと深く知ることができる。

特に、この3階展示場は、可動展示ではなく、資料展示であるため、子どもには接しにくい部分もあり、実際展示場では、小学校の団体が来た場合、走り抜けてしまうことも多い。大人に対しても、ゆっくりと展示を見ていこうという見学者に対しては、ほとんど全ての展示物に吸引力がある資料を設置しているのだが、関心が薄い方々にとっては、何か物が置いてあるだけ、と流れていくことも多い。

実際にこのコーナーで展示解説を行うと、始る時は、やや遠巻きに展示を見ている方が多く、聞いても面白いものなのか探る様子や、つまらなかったら即、別の展示に行こうというような状態が読み取れるが、始めてしばらくすると前ページ写真のように、かなり接近した距離で解説を聞いてくれる状態になる。

なお、このギャラリートークの問題点としては、どうしても聞いていただける人数に限りがあるということであろう。おおよそ20名も集まれば展示が取り囲まれるような状態になり、展示資料などが見えなくなったり、話が聞



図3. ギャラリートーク開始から3分程度たった頃。まだ互いの距離が遠い。

きづらくなったりする。もちろんマイクを使用しているが、音量を大きくしすぎると、当館3階展示場が割合静かな展示場であるため、他の展示を見学している方々に不快な思いをさせる可能性もあるので注意したい。

今のところ、このギャラリートークを聞くことを目指して来館されるお客様はなく、たまたま展示場で開始直前に声をかけられたので、聞く気になったという方々ほとんどである。それでも、できる限りの本サービス提供と、化学、そして香りを通した分子の性質について、見学者が理解してもらえるような内容とし、少しずつ改善させながら、今後も継続していきたい。